

第3日

【小倉競輪場】 電投番号 [8 1 #]

★ ミッドナイト競輪 ★

2023/2/7

■ ■ 1 R ■ ■ 出走表 (本命率 5 5 %)

<展望> 『動けてる「北野」「岡嶋」五分の自力戦』

予選は自力でなかったが、あきらめないで直線伸びて2着に入った③(北野)、準決は中川聖大が予選とは違い鐘で仕掛けた事で、6番手に置かれても捲りに行ったのはやる気であり調子か、こゝは④(田中)⑤(磯田)⑦(西村)に任された事で、先行主体に捲りに成っても執こく攻め続ければ連対外さない四国のホープ。調子と言うより前で頑張ってくれる自力型を庇い過ぎてる(田中)は、最終日こそは自分のレースをやる事で。松岡孝高のフレームがやっとマッチして来た(磯田)なら付いては行ける。着以上に目立ってる①(岡嶋)は元気でも、問題は後を固める②(大川)⑥(川西)の調子。尚迷った(西村)はライン大事に固める。

<出場予定選手コメント>

- | | |
|----------|------------------------------|
| △ 1 岡嶋 登 | 後は付いて来てなかったんですね。自力。 |
| 2 大川栄二 | 権造(舟元)に付いて行けないでは。岡嶋の番手。 |
| ◎ 3 北野佑汰 | 7着したが攻めた結果。九州の3人と決める自力。 |
| ○ 4 田中孝法 | 失格しなくて良かった。こゝは北野君の番手。 |
| × 5 磯田義則 | 長松君に申し訳なかった。予選で任せた孝法(田中)。 |
| 6 川西貴之 | 長谷川さんに離れ、申し訳なかった。同期岡嶋さんの3番手。 |
| 7 西村尚文 | 一走毎に良くは成ってます。4番手。 |

<展開予想>

← 【1】 2 6 【3】 4 5 7

<穴を探る> (岡嶋)本来のパワー。 1-2 1-3

2車単 3=4 3-1 3-5

3連単 3=4-1 5

■■ 2 R ■■ 出走表 (本命率 45%)

<展望>『最後に笑うのは地元「松丸」と信じて』

予選は中川聖大のはっきりしない運行に付き合わされて付いて行けなかった①(松丸)、2日目は、ほとぼしる闘志の五反田豊和は抜けずも2着はキープして居り、徐々に脚も気合も上がって来たら、やる気しかない④(吉田悟)に行けるメンバーなら地元の意地で勝利を物にする。3番手の③(安藤)は、前回の久留米から極度の不振では。連日しっかり仕掛け目立ちまくってるオールルーキー②(長谷川)、こゝは選手に成る時に世話に成った恩人⑦(山田)に任された以上は連れて行く逃げか、やさしい捲りかも。そして着以上の動きをしてる⑤(舟元)は頭からの狙い。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 松丸裕紀 五反田さんは気合入ってましたね。吉田君に任せる。
- ▲ 2 長谷川裕一 練習不足なのかタレたが、自分のレースはやれてる。自力
- 3 安藤雄一 2日目も任せた松丸の後を固める。
- 4 吉田 悟 突っ張り切れず田中さんに入れて貰ったのに力不足。自力。
- × 5 舟元権造 一か八か行ってしまえば良かったかも。山下さんの前で自力。
- 6 山下茂樹 落車したが軽いので走る事にした。権造(舟元)。
- 7 山田二三補 豊橋の練習仲間、長谷川に付いて行きます。

<展開予想>

←【4】 1 3 【5】 6 【2】 7

<穴を探る> (長谷川) 3日目こそはの自力戦。 2-7 2-5

2車単 1=4 1=2 1-5

3連単 1-4=25

■■ 3 R ■■ 出走表 (本命率 40%)

<展望>『スプリンター「中嶋」のスピードを抜擢』

大阪桐蔭高校時代は陸上競技それもハンマー投げをやってた①(中嶋)、意を決して競輪選手に成ると決め、選んだ師匠は酒井拳蔵(109期)、決勝には乗れなかったが片鱗は垣間見せて居り、1番車という事は主役なので自信を持って攻める事か。後は前回の久留米とは別人に成ってる⑥(川本)、付いて行って欲しいが。2日目に新人の長谷川裕一を突っ張り、カマンに飛び付いた④(五反田)、その気持が持続していれば再勝は充分。2日目の1着に気分良くしてる②(川添)が連携。四国は決して自信めいた事は発言しないが、レースに成れば一変する③(眞鍋)には、高知コンビで結束。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 中嶋 樹 反省を生かし、気持入った自力で頑張ります。
- 2 川添輝彦 前の2人が脚使ってたにしても1着は嬉しい。五反田。
- △ 3 眞鍋伸也 全てに力不足ですね。何時も通り前々。
- 4 五反田豊和 初日が悔しかったので逃げると決めたのが功を奏した。自力。
- 5 森下忠夫 岡と話をして、世話に成ってる眞鍋に任せる。
- × 6 川本隆史 絶好の3番手で決勝に乗れないとは。こゝは中嶋君。
- 7 岡 俊行 森下さんが伸也に行くなら後を固める。

<展開予想>

←【1】 6 【4】 2 【3】 5 7

<穴を探る> 九州ベテランコンビで仲良く。 4=2

2車単 1=4 1-3 1-6

3連単 1-4=36

■■ 4 R ■■ 出走表 (本命率 60%)

<展望> 『果敢「永井」には、復調「中野」』

落車で体調を崩し、それで長い間維持したS級から滑り落ちた①(中野)、失格もあり浮上しきれずに居るが、脚力は衰えても気持は切らしてないので、天才スプリンター②(永井)の踏み出しに集中すれば首位の好機。(永井)は2日目の仕掛けではゴール迄持たないと考えればペースで逃げるか、捲りの時は仕掛けを遅らせるか。練習してるので悪くない⑥(石田)の差し切りは盲点。九州は積極的に攻めてる④(白濱)にはラインで③(三槻)と成り、心なしか不元気な⑤(興呂木)は自力を封印して西九州の後に決める。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 中野彰人 末廣に付いて行くのは厳しかった。永井さんの番手。
- 2 永井清史 勝てなかったが自分のレースはやれたので。自力勝負
- × 3 三槻智清 調子は悪くない。西九州の仲間、白濱に任せる。
- 4 白濱一平 連日良い展開に成ってるのに力不足。自力。
- 5 興呂木雄治 このメンバーなら西九州の後を固めます。
- △ 6 石田洋秀 一走毎に良くは成ってます。こゝは中近3番手。
- 7 徳吉正治 (補充なので一人でやるか、九州で結束)

<展開予想>

←【2】 1 6 【4】 3 5 【7】

<穴を探る> 成績程悪くない(石田)が狙い。 6-1 6-2

2車単 1=2 1-6 2-6

3連単 1=2-6

■■ 5 R ■■ 出走表 (本命率 60%)

<展望> 『結束する九州トリオが僅かに優勢』

予選で内を抜けて逃げた安本昇平を捲った②(天野)、準決勝は果敢に逃げはしたが、特選シード張野幸聖に力の違いを見せ付けられた事で練習やる気に成ったかも、こゝは①(松田)⑥(西島)に任された事で自力でも前々勝負を心掛ける。予選と違い、2日目は永井清史を突っ張り「競輪」をした(松田)、現在は自力から追い込みにシフトチェンジしてるので(天野)の番手は「渡りに船」とはこの事か。調子良くても仲々噛み合わない③(山崎)は再び⑦(板橋)と一緒に成ったが、自分のレースに徹し切れれば頭から狙える。④(市本)は自力と言いたくなかったのか、単騎と宣言した事で⑤(吉田彰)も単騎。

<出場予定選手コメント>

- 1 松田直也 初日より良かった。天野が居ますね、2度目の連携。
- ◎ 2 天野純平 全てに力不足なので練習します。九州の一番前で自力。
- △ 3 山崎 晃 後が離れたのは解った。調子は大丈夫。2車でも自力。
- × 4 市本隆司 石田さんと決まったと思ったのに、一彰が強かった。決めず。
- 5 吉田彰久 市本さんは一人なら僕も決めずにします。
- 6 西島貢司 見ての通りの調子ですが、九州の3番手固める。
- 7 板橋常晶 山崎に申し訳なかった。今度は付いて行きます。

<展開予想>

←【2】 1 6 【4】 【3】 7 5

<穴を探る> (山崎)の捲りが狙い。 3-4 3-1

2車単 2=1 2-3 2-4

3連単 2=1-3 4

■■ 6 R ■■ 出走表 (本命率 35%)

<展望>『予選の再現は愛媛コンビ』

予選の②(芳野)は過去に何かあったとしか、宮崎一彰に行かず逃げた宮崎を捲りで仕留めたもの、その流れで自力のメンバーに成ったが、大先輩④(梶應)に再び任されたなら捲りと決めず、流れでは先行も充分視野に入れてる。今回は防府主催と言う事で気合は半端ない⑦(安本)、国立鹿屋体育大学で競技をやったエリートでもあるので、自力・自在は頭から。予選でも連携してた③(塩川)がマーク。2日目の2着で光明が射した地元①(城戸崎)が考えてるのは⑥(白川)を連れての捲り。単騎⑤(西郷)迄、差は無い乱戦荒れ模様。

<出場予定選手コメント>

- × 1 城戸崎隆史 屋宜が強かった。このメンバーなら自分でやります。
- ◎ 2 芳野 匠 予選と一緒に、梶應先輩と決める事にします。
- 3 塩川真一郎 予選で頑張ってくれた安本に黙って任せる。
- 4 梶應弘樹 調子と言うより、相手が強かった。予選同様、後輩芳野。
- 5 西郷 剛 同級生の小嶋は凄い。3番手で3着なら上出来。決めず。
- 6 白川有司 城戸崎さんが何をやろうと、後を固めます。
- △ 7 安本昇平 塩川さんに任されたんですね。自力・自在です。

<展開予想>

←【7】3【1】6【2】4 5

<穴を探る> 中国コンビで独占。7=3

2車単 2=4 2-7 2-1
3連単 2-4=37

■■ 7 R ■■ 出走表 (本命率 70%)

<展望>『怒った「宮崎一」事実上の先行1車』

プロ野球、それも巨人・西武の名門チームに在籍して内野手として活躍した④(宮崎)、その運動神経を自転車に生かしてるとは言えないが、この年齢に成って進化してるのは素材が成せる業か、予選で一番やられたくなかった芳野匠に捲られ、闘志に火が点いたのか2日目は捲りで後続を引き離す快走、このメンバーは逃げる候補生は一人なら連勝するしかない。高知の後輩⑤(川上)が番手で、①(小林)⑥(柳澤)の近畿勢迄のラインは強力。九州の3人は似た様な戦法なので、並ぶより各々に持ち味を活かす事に決めたが、何をやるのか厳しいのは否めない。

<出場予定選手コメント>

- △ 1 小林卓人 張野が強かった。こゝは高知の3番手固める。
- × 2 米原大輔 九州の3人は各々に成りました。単騎で何か。
- 3 加藤昌平 単騎ですが、地元なので気合入れて走ります。
- ◎ 4 宮崎一彰 予選のウップンは晴らした。修平(川上)と決める自力。
- 5 川上修平 宮崎さんと一緒ですね、競りでも番手は守ります。
- 6 柳澤達也 調子は良いですよ。卓人(小林)の後に決めた。
- 7 屋宜浩二 調子は上がってます。このメンバーなら決めず。

<展開予想>

←【4】516 2 3 7

<穴を探る> (宮崎)の首位で(屋宜)。4-7

2車単 4-5 4-1 4-2
3連単 4-5=1

■■ 8 R ■■ 出走表 (本命率 75%)

<展望> 『地元戦の鬼「中川聖」が連勝伸ばす』

予選は1着取っても反省しなかった③(中川)、しっかりした練習をやれているからか、準決は赤板で他のラインを出したのに鐘で仕掛け、後を固めてくれた岡山コンビをいたわり乍ら余裕で押し切ったのは鍛え方如何では「天下を取る」事ものホープ、同期・同級の④(長松)とは連携せず自力を宣言したのは師匠の教えなのかも。九州2人のコメントを待って①(北村)が喜んで(中川)にマークする。連日の出来は未だV歴が無いのが信じられない⑤(矢部)、後を②(小林)⑥(内村)に固めて貰った以上はやりたい逃げで初優勝。そこで(長松)は単騎で一発狙う。好調⑦(大平)も単騎。

<出場予定選手コメント>

- 1 北村 篤 僕の3着で人気してたので内を狙った。九州別なら中川君。
2 小林 健 中川には初めて付いたが本当に強い。初日任せた矢部。
◎3 中川聖大 初日より落ち着いて走れた。3, 85に上げて人気に応えます。
×4 長松大祐 自分のレースはやったが矢部に脚負け。納得したいので単騎。
△5 矢部駿人 連勝なので調子は悪くないけど、逃げてないのが。先行基本。
6 内村竜也 矢部の捲りに付いて行けて良かった。岡山の3番手固める。
7 大平竜太郎 自分だけに成っては反省しかない。岡山とは別に自力。

<展開予想>

←【5】26【3】1【4】【7】

<穴を探る> 中国トリオで独占。5-2 5-6

2車単 3-1 3-5 3-4
3連単 3-1-4 57

■■ 9 R ■■ 出走表 (本命率 40%)

<展望> 『強カメンバーの激突は見応え満載』

これがA級の闘いなのか、S級それもトップクラスに負けない激しい準決勝を乗り切った7名の優勝争いは、車券を抜きにして競輪ファンなら絶対に見逃せない決勝戦。無傷で勝ち上がった③(渡邊豪)は3度び⑤(加倉)に任されたが、やってる事は捌きか捲りでの完全V。「恵まれただけですよ」と言ってる①(坂本)、この安定した成績は全て実力であり調子、単騎でも3連対は外さない。準決の1着で夢の900勝に一步前進した年齢を超越してる怪人②(小嶋)の戦法は、⑥(土岐)を連れて④(張野)の番手で804勝をゲット。そしてフレッシュ近畿の2人のやる気にパワーは、狙って損は無い魅力あるもの。そこで⑦(末廣)は初めての単騎でも狙うは連覇。

<出場予定選手コメント>

- 1 坂本修一 何とか人気に応えて良かった。どう見ても単騎ですね。
▲2 小嶋敬二 土岐と決まり良かった。近畿は分かれるなら初日同様、張野。
◎3 渡邊豪大 考えた展開ではなかったが加倉さんと決まったので。自力・自在。
4 張野幸聖 坂本さんに抜かれたが力出し切ったので。小嶋さんの前で逃げる。
×5 加倉正義 失格しない様確かめて豪大を追った。悪くない。3度び豪大。
6 土岐幹多 小嶋さんの後は緊張しますけど付いて行けて良かった。勿論任せます。
7 末廣快理 張野に付ける事は無い。チャレンジャーなので単騎で自力。

<展開予想>

←【4】26【3】5【1】【7】

<穴を探る> (張野)利す(小嶋)が狙い。2=1 2-6

2車単 3=1 3=2 3-5
3連単 3-1=2 5